

畜産人材育成研修
短期研修生
募集要項

京都府農林水産部畜産課

京都府農林水産技術センター畜産センター

I 目 的

畜産人材育成研修短期研修では、京都府の畜産業の振興に向けて、永続性のある畜産経営者の育成並びに畜産経営の基盤強化を図るため、畜産経営者及び従事者をはじめ、畜産業に携わる技術者等も含めた幅広い分野で人材を育成することとしています。

II 募集人数 若干名（詳細は、別記に掲げた各コース毎に調整します）

III 研修期間 研修内容に基づき相談の上決定します。

IV 出願資格 研修後、府内に定住して畜産業に従事又は畜産業に関わる法人等に就業される方

V 出願手続き

1 出願期間及び出願書類の提出先

(1) 出願期間

令和8年度内随時受付けています。（2）のあて先へ直接持参又は簡易書留郵便で郵送してください。

(2) 出願書類の提出先

- ・直接持参の場合 受付時間は、平日午前8時30分から午後5時15分まで（土曜・日曜・祝日は休み）
- ・郵送の場合 必ず封筒の表に「畜産人材育成研修申込書類在中」と朱書きしてください。

【持参又は郵送先】

〒623-0221 京都府綾部市位田町桧前

京都府農林水産技術センター畜産センター業務部 担い手・普及担当

TEL0773-47-0301 FAX0773-48-0722

- ・受付後、受付番号等を記載した受付票を郵送します。

2 応募書類

1 願 書	(様式第1号)
2 志望理由書	(様式第2号)
3 写 真 2 枚	応募前3か月以内に撮影した正面上半身脱帽のもの サイズは縦4cm×横3cm、写真裏面に氏名を記入し、うち1枚は、願書に貼ってください。

3 注意事項

受理した応募書類は、お返ししません。

Ⅵ 選考方法及び日程

1 選考方法

研修生の選考は、志望理由書による書面審査と選考実施日に行う面談を総合的に判断して行います。

2 日程

選 考 実 施 日 (面談日)	随時調整します
選 考 場 所	随時調整します
選 考 内 容	個人面談 ※ 面談終了後は自由解散となります。 ※ なお、受験者数により面接開始時間は異なります。
選 考 結 果 の 発 表	選考日より概ね2週間以内に該当者本人に通知します。 なお、合否に関しての電話等による照会には一切応じません。

※やむを得ない理由により、選考場所へ来場できない方は、ご相談ください。

※現地見学を希望される方は、ご相談ください。

Ⅶ 合格後の手続 入学手続の詳細については、別途、お知らせします。

Ⅷ 費 用

実費相当分として、年額118,800円を上限とし、研修開始月、研修期間及び研修内容等により決定します。

(返還はいかなる場合も一切行いません。)

- ・教材、資格取得に係る経費、住居及び生活等に係る費用等は個人負担となります。(詳細は、畜産センターへお問合せください)

問合せ先

受付時間は、平日午前8時30分から午後5時15分まで(土曜・日曜・祝日は休み)

京都府農林水産技術センター畜産センター
業務部担い手・普及研修担当 担当：万所、富井、佐々木
〒623-0221 京都府綾部市位田町桧前
TEL 0773-47-0301
FAX 0773-48-0722
ホームページ：www.pref.kyoto.jp/chikken/
E-mail：ngc-chikusan@pref.kyoto.lg.jp

※ご注意

携帯電話からメールをいただいた場合には、こちらからの返信メールが携帯電話へ届かないことがありますのでご注意ください。

携帯電話からメールをいただく場合には、確実に回答ができるように、メール本文にメールアドレスや電話番号等のご記入をお願いします。

別記

コース	畜種	期間	研修概要	備考
親元就農	酪農・ 肉用牛	応相談	牛の栄養、家畜衛生等の座学や畜産 C での実習をオーダーメイドで実施	・酪農経営者と後継者の要望に即した個別対応型の養成コース ・月 1 ～ 2 回程度の研修
酪農ヘルパー養成	酪農	応相談	牛の取り扱いや搾乳衛生について座学と実習を実施	・農家実習もあり ・2 週間～ 1 か月程度の短期研修
養鶏	養鶏	応相談	栄養、家畜衛生、鶏の取り扱いについて座学と実習を実施	・農家見学・実習もあり ・3 ～ 6 か月程度の研修
家畜管理	牛・鶏	応相談	家畜の栄養や取り扱い、家畜衛生について座学と実習を実施	・農家見学・実習もあり ・2 週間～ 1 か月程度の短期研修